



セミの鳴き声が響き渡り、今年も暑さの厳しい夏が始まった！と思っていたら、もうあつという間に8月が終わりますね。朝晩の涼しさに心地よさを感じつつも、“もう夏が終わってしまう…”とあれだけ毎日「あつい～」と言っていた夏の終わりに寂しさも感じている今日この頃です。

この夏は、主人のリフレッシュ休暇があり、例年よりも多く夏休みをとることができた子ども達。いつもは週に5日は保育園に登園しており、それが習慣化されているので、保育園に行くのが当たり前になっているのですが、今年は、両親の休みを合わせると、飛び石での休みがあったり、連続して休んだりと変則的な登園が続き、まだ曜日感覚のない2歳の次女は、毎日「きょうはおやすみ？」と聞いてくるようになりました。

保育園でもお休みでも「やったー」と喜び、なんでもOK！という所がある次女なので、母親の私もそれに甘んじて全く気にせず過ごしていたのですが、実はよくわからなくなっていましたよ…。

今朝起きてくるなり抱きついてきて、「きょうはおやすみ？」「ほいくえん？」と次女。
「今日は保育園だよ」と答えると、
「きょうはほいくえんいかないでよく。」と次女。「どうしたの？」と聞き返すと
「…ママといっしょにいたいから」との事。

その後の着替えも「じぶんでやるの～」と手伝いを拒みつつ、自分でも始めようとせず。
「10秒だっこしてから着替える？」とか「抱っこしながら着替える？」とか甘い言葉をかけると「うん」と乗ってはくるものの、「ママがいの～」と全力で着替えが進まないように拒否。

姉が妹の大好きな氷を冷凍庫から出してきて口に入れてくれると思いのほか、機嫌が良くなり、その勢いで着替えや食事は済んだものの、保育園へ向かう自転車でも「ママ～これからどこに行くの？」と気にしている様子。

そして保育園に到着し、ついに別れの時。いつもなら「おっはようございまーす」と陽気入室し、すぐに「ばいばーい」と遊び始める次女。しかし今朝はやはり…「ママのだっこがいの～」「ママがいの～」とポロポロ涙を流してしがみつき、離れませんでした。

“いつもと違うこと” “先が見えないこと” …たとえ、それが楽しいことでも嬉しい事でも、大なり小なり、子どもにとっては負担のかかる事。先のことが見えていて、全体像が把握できている大人とは決して一緒にできないのだなと痛感した朝でした。

今夜はゆっくりスキンシップをとって、沢山甘えられるようにしたいと思います。
毎日の育児、お疲れ様です！

